

— 雜 錄 —

— Miscellany —

道修町における生薬取引の現況

株式会社 三国商会 取締役社長 武 部 勝 治

(昭和31年2月25日 関西部会に於ける講演より)

まず最初に、道修町についてであるが、道修町が薬屋の集団地となったのは、今から280年程前である。それから約40年程のちの享保7年、徳川8代将軍吉宗の時に和漢薬改会所というものをつくらせという命令があつて、同時に薬屋の連中124軒の薬種仲間株というものがあることが允許された。それが大体、この薬品市場として確立された最初のものである。その後いろいろ時代の変遷があつて多少の波があつたが、現在では製薬面においても或は医薬の販売面においても日本の中核市場であるということは御承知の通りである。また地域的にも一番最初は平野町辺から発展したようであるが、その後道修町に全然固まっていたのであるが、大正年間位からだんだんと市場が大きくなるにつれて北側の伏見町、南側の平野町、淡路町等に拡大していったのである。しかし道修町といういわゆる薬屋の町という一般的通念になつていて、ふつう道修町には平野町の方も淡路町の方も伏見町の方もひっくるめて道修町市場と呼んでいる。結局、道修町というと、薬屋の町というよりも薬品市場或は大阪の薬品市場という代名詞になつている。現在、医薬品関係は別として生薬に関しては、もう日本の最大というか、過半数或はもう少し大きくいうならば大部分を扱っている市場である。

ここで一つ生薬という名称について述べると、一般大衆は生薬というよりも漢薬、漢方薬、生薬(キグスリ)といっているようであるが、私たち業者間では、日本産の生薬を特に和薬といい、輸入生薬を漢薬と、はっきりと区別している。そしてまた業者も従前は和薬を扱う人、漢薬を扱う人と判然と区別があつて和薬屋、漢薬屋と呼んでそれぞれ専門にしていたのであるが、昭和の初め頃からは漸時、両方共扱うようになり、現在ではほとんど和漢薬両方扱っているという状態である。

現在の業者の数は約70軒程あつて、この中にいわゆる大問屋という用語があるが元問屋、地方の注文を主としております注問屋、小分けをして薬局、薬店向へ卸す店等の業態があるが全部合せて、道修町で生薬を扱う店は70軒程ある。それ等の人達が集つて草薬会というものを作っている。また、同時に生薬派興会というものも作っている。

ここで一寸断っておきたいのは私の方と数軒だけが和漢薬と一緒に扱っていないので私の方は純然たる漢薬一本で押している。したがつて漢薬についてのみ述べるので、この点御諒承を乞う。

道修町市場は医薬品全般についても日本の市場であるが特に和漢薬についてはほとんど日本中のものをここで扱っているといつても過言ではないので、殊に漢薬の方はおそらく日本の需要の90%が道修町を通じて流れているという状態である。

次に、現在どのような漢薬が輸入され、また流通しているかという点、別表の如くである。分類上A、B、Cの三つに分けたのであるが、Aは概ね1年間100万円以上の需要のあるもので、58品目、Bは約50万円乃至100万円位需要されるもので、40品目、Cはほぼ50万円以下のもので110品目ある。これは俗に遠薬といつて、売れの遠い商品である。なお、Aのうちで特に沢山利用され、約500万円以上のものをあげると、アセンヤク、アラビヤゴム、チョウジ、チョウジ油、ダイオウ、五倍子、ゴオウ、ジャコウ、沈香、マクリ、甘草、カラシ、ケイ皮、ケイ皮油、ゲンチャナ、コショウ、マオウ、ニクヅク、サフラン、ウコン、熊膽、大体この21品である。しかし生薬は、商品の一つ一つ眺めると非常に小さいものであるから税関の統計その他確然とした統計がないので甚だ漠然としたもので、われわれ業者間の甚力で拵えたものであるから数字の曖昧なところもある。その点御諒承を乞う。

なお別表の208品目以外にも漢方で使うようなものも相当沢山あるけれども、商品として何時でも道修町の市場の何処かの店にあるというものは以上のものである。

次に全金額にしては一体どの位のものかという点、道修町で扱われていると思われる金額は大体輸入生薬全部

で5億前後のものかと思う。薬用外に使われるもの、甘味料、薫香とか、香辛料に使われるものは道修町以外の店でも扱ってるものが相当ある。こんな他の用途にも向くもの、例へば丁字、五倍子、甘草、桂皮、胡椒、ニクヅク、ウコン等を除いた薬用のみに用いられる漢薬だけで道修町のわれわれの手を通じて来ているものは大体年間3億7,8千万円位の見当と考えられる。

さて、輸入の方法は輸入先はリストの積出港を見ていただければわかると思うが、大体その積出港の貿易商と取組み、輸入するのであるが、リストの中の空欄のものは大体ほとんど香港から来ておるものと考えればよい。漢薬は全部貿易品であるので現在のところは輸入貿易管理令によつて管理を受けている。

輸入は外貨支払を伴う取引であるが日本の保有している外貨は無制限に、国民が自由に使える程潤沢ではないので輸入を自由に放任しておくに国民に直に必要でないもの等の輸入のため、必要不可欠な物を輸入する外貨資金が不足する惧れが多分にある。しかし個々の、小さい点まで、政府が輸入行為に干渉すると、時々刻々に変る世界市場を相手に有利な取引ができなくなり、却って円滑を欠き外貨の浪費になる。そこで外貨資金を有効且有利に使はすため政府は外貨資金運用の基本的計画を作り、極大綱的なものを作り、計画範囲内の輸入取引はなるべく業者の自由にするというような制度を取っている。現行の輸入貿易管理は上述の原則を基本に組立てられている。すなわち政府は六ヶ月毎の輸入貨物外国為替予算—外貨予算という一を作りこれを一般に公表する。業者はこの公表を基にして為替銀行に希望する県名、金額等を記載した輸入申請書を提出する。銀行はそれに対し政府に代り輸入承認証を発行する。業者はこの輸入承認証に依り貨物を輸入しその代金を支払うという仕組みになっている。この間にも色々細かい点に為替管理をしているが、できるだけ自由に動けるような原則に依り決められている。

次に最近の管理に於ける傾向は、現行法は貿易の自由化、外貨予算制度、銀行主義、貿易と為替の統合規制などの考へ方を以て編成されているが、昭和28年末よりのインフレ傾向の阻止、国際収支の均衡確保の要請に依り輸入面に於ても、輸出を促進するための輸入政策、すなわち輸出入リンク式、加工貿易方式、外貨割当規準に於ける輸出実績の重要というようなこと、また国内インフレ阻止を兼ねた輸入抑圧政策、例へば輸入金融引締めに応じた輸入担保率の引上げ、諸許可基準の厳格化等が行はれてきた。しかし乍らこのような諸施策の効果が現はれ輸入需要が減退した一方、輸出面では最近の欧米経済界の活況などが幸いして受取勘定が増大したので昨年下半年以降は国際収支は非常に好調が続けていますので、現在すなわち昭和30年10月から31年3月までの予算からは輸入抑制は非常に緩和されている。

次に輸入承認の方式に就て述べる：

先着順制度 First Come First Served System というのは字義の通り品目の受付が公表されると、その品目の予算がなくなるまで、申請高を提出した順番に許可される制度であるが色々の面で非常な弊害が起つたので現在は実際には行はれていない。

外貨資金割当制度 Foreign Exchange Allocation System というのは国内需給のバランスを失しているものが沢山あるが仕入先の事情から一時に輸入のできないもの、或は一定量以上の輸入が国内経済に悪い影響を与えるものもあるのでこれ等の物資に就て、輸入量の調整をするための制度である。

自動承認制度 Automatic Approval System 略してAAといいます。これは先着順制度、外貨資金割当制度の二つの制度の欠点を補い、できるだけ自由に正常な貿易取引を行えるよう、そして民間輸入を促進できるように考えられた制度である。

この制度の特色は第1に銀行の窓口が常に開かれていること、すなわち業者がいつでも欲しい時に申請し、承認を得られるようにすること、これがこの方式の最大の眼目であって申請すれば承認されるというように予算制度下にあつて予算のないように運用することが理想とされているわけであり、予算に非常な弾力性を持たせてある。第2には予め海外仕入先と商談を進め契約確定した後、輸入の承認を申請するように海外との取引の正常化を図ったことである。第3は仕入地域の限定をできるだけ避けて、その時々の市況に応じ最も有利な地域から輸入できるよう通貨や船積地域を自由に選べるように考えられてあることである。

この制度は国内の特別の事情、または海外のすなわち相手側の輸出制限等の問題が起らぬ限り最も進んだ制度である。

次に「その他の輸入方式」に就て述べると、これには雑輸入方式、長期契約方式、無公表方式の三つがあるが

私達に関係ある雑輸入方式だけを述べると、外貨予算に於て独立の品目として掲げられるもの以外のものを雑輸入品と称し、外貨予算ではこれ等のものために使用される金額を一括して、雑輸入品という名称で計上されている。この雑輸入品の輸入は先に述べた自動承認制すなわち AA に依るものと、事前割当制 Allocation に依るものとあって AA に依るものはその公表の別表に依り雑輸入品として適用を受ける品目を指定される。実際に輸入する時は AA 制に依る商品の 1 グループと考えてよいのである。従って適用を受ける品目各個も AA 制と同様とみて諸手続きをしてよいのである。

AA 制に依らない雑輸入品は全部事前割当 Allocation 制によるのである。この Allocation に依るものは通産大臣宛になっているが種々な審査基準にかかって後決定割当証明書を交附されるのである。

それでは輸入生薬のどれとどれとがどの制度に依るかということであるが、別表の輸入承認方式の欄に AA と記してあるものは AA の特掲品目と AA の雑輸入品のもので生薬としては比較的大きい金高のものであり、Allo と記したものは雑輸入品の外貨割当制度すなわち Allocation に依るものである。

現在の処、輸入生薬に関しては厚生省の非常に好意ある支援支持、また通産省のよき理解に依ってほとんど不自由なしに輸入されている。

なお、別表について補足するが、バッカクの値段は、大体バッカクはポルトガル、スペインの、いわゆる良いものは産が 2,300 円位のもので、東欧の多分野生のものであるが、いわゆる東欧産は、約半値の 1,200 円位である。

また白檀の値段が 350 円となっているが、これはいわゆるインドのマイソールが一番良い品物で、濠洲から来るもの、俗にわれわれは新木と呼ぶがこれは 1 斤が 200 円位のものである。

ベニバナの値段が 80 円乃至 150 円となっているが、これは新しいものと、いわゆる古くて色の悪いものとは非常に違い、古いものが 80 円位で新しいものが 150 円位ということである。中国産のいわゆる四川紅花は 200 円である。

ジャコウの値段は 1 斤に就いての値段で、いわゆる皮にはいったそのままのものである。中身だけにすると品物によって非常に浮動があるが、中身の歩止りは 45% 位から、良いものになると 80% 位のものがあるので、その値段は非常に出しにくい。

オケラの原産地には、中国の南部および奥地をあげているが、日本へは朝鮮産のものの方がたくさん来ている。

現在市場価格は勿論元俵の値段で、小分けになると目欠とかその他の関係上、5、6 割位は高くなる。また、現在の相手先のいわゆる原価は現在市場価格から、その手数料と言うか一業者の利益—これを 1 割見当、輸入税の要るものはそのパーセント—全部従価荷税である。これといろいろ輸入の決済するに就いての費用が大体 5% ほど、それから引取りとかその他の内地へ着いてから後の運賃、これを大雑把にみて、もう 5% 程みる、結局現在市場価格から、税金の 1 割要るものであれば、3 割 5 分乃至 4 割程引いたものが、われわれの輸入原価になると思う。

それから、日本へ入っている漢薬は昔は非常に値段の安いものばかり引いたので品質の悪いものがよく来っていたのであるが最近では業者が目覚め、需要者も相当目覚めたので、概して中位のものが主として輸入されている。

販売の方法は、これはどの商品も同じであって多量の場合は大きな問屋から、小さいものは小さい所からということとは当り前のことで、和漢薬についてはその経路がはっきりしていて、業者同志の競争というものは比較にならない商品である。

以上で現在の道修町の生薬取引の大略を述べたと思う。

最後に、生薬業の前途であるが、これは甚だ大きな問題で簡単にいうと、大体生薬は大正年間から段々と需要が減り、業者の数は毎年毎年のように減って行ったので大変心寂しいようにも考えたが、終戦後また復活して、殊にここ数年来非常に生薬というものの良さが一般に認識されたようで、最近では需要が次第に増えているという状態である。しかし、ただ、他の医薬品に毎年毎年一割とか一割何分の割合で自然増があるのに、生薬はその自然増が多少他の医薬品に比較して少ないのではないかと思う。

最近は何とかして、もう少し……もっともっと需要を伸ばしたいというわけで、われわれ業者は生薬振興会

を作り一般大衆にじかにその宣伝もしようと半年程前から相当力を入れてやっているが、これも大分結果が現われてきているようであるので、この上は生薬に関係のある方々の協力を得てなお一層生薬というものを一般に認識させるならば、決して今後は悲観すべきものではないと思っている。前途洋洋と迄はいかないが、少くともわれわれの努力次第によって、もっともっと伸びる商品であると思う。

(問) ダイソウの箱合せ……籠合せと書いてあるのはどういうものか。

(答) 籠を二つにして二つひっつけたものである。

(問) それは被ってないのか、同じ大きさか。

(答) ひっつけて、それをくくって上へアンペラを被せる等して十文字にくくってある。

(問) センナのプレス麻袋というのは……。

(答) センナは非常に嵩のあるもので、いわゆる プレスしてある。プレスすると センナの塊りのようになり、その上を麻袋で巻いてある。

大体この一個あたりの目方は、非常に重いものが多いのであるが、あちら、特に中国では苦力賃が一個あたりいくらとなっておるようで、二俵にすれば丁度扱い易いものをわざわざ麻袋を二つひっつけたというのが大変多い。それでおそらく苦力賃の節約のためだろうと思う。

(問) 甘草は醤油なんかにもはいつているか。

(答) 醤油屋等の持つものを全部入れると、金高にして、6, 7千万円、量的には日本の甘草の輸入量は大体4, 5百屯であろうが、そのうちのまず九割近くが醸造の甘味料になっている。約1割強〜2割程が薬用である。

(問) 甘草は煙草の味つけに使うのではないか。

(答) アメリカでは従来でも煙草の味つけにどんどん使っていて、日本でも専売局で研究しているが、まだ現実には使っていない。

煙草というと、芋ダイオウも煙草の味つけというか、色つけというか、アメリカの煙草用にアメリカへ出していた。

(問) 日本が出しているのか。

(答) 日本は出していない。許可さえすればアメリカはどんどん買うのであるが……。

(問) この表にはダイオウは芋と両方……二つあるが、一緒か。

(答) 唐ダイオウは雅黄というものと思う。

(問) 現在中国乃至台湾からは全然苦練皮は輸入されていないのか。

(答) 苦練皮は内地産で充分需要をまかなえるはずで、もしも内地産で足りないという場合は輸入許可は勿論される。

熊胆は中国のものは、ペタッと圧搾して南京虫みたいな恰好をしている。

(問) 鹿茸は日本では相当需要があるのか。

(答) 100万円位あると思うが。

(問) 製剤原料に使うのか。

(答) 製剤原料にも使っている。一般には強壯剤にしている。薄く切ったものをそのまま買うので、飲む方は朝鮮人が多い。鹿茸は日本へ輸入するものは良いものが多い。

(問) B級の中にゴシツと書いてあるが、これは川牛膝を日本で使うことがあるのか。

(答) 内地産は非常に少ないのか、日本のものはあまり使わない。日本のゴシツは藟牛膝であれを栽培しておるようである。

別表

現在日本へ輸入されている生薬

(昭 31-2-25)

註○ 品名はABC順による。

○ 元俵一個当り重量：殆んど全部乱目入りにつき大約の重量を示した。

○ 重量単位は特記のものを除き業界の商習慣に依り斤(160匁—600匁)とす。

○ 用途：不記入のものは家庭薬、製薬、漢方医向、一般向等の薬用のみに供せられるもの。
他にも用途あるもののみ特記せり。

○ 輸入承認方式：自動承認制度 (Automatic Approval System) のものは A・A・

外貨資金割当制度 (Foreign Exchange Allocation System) のものは Allo.

○ 輸入税：無税 (Free) のものは F. 従価税のものは%を以て示した。

○ 現在市場価格：元俵 大阪倉庫渡し。

A 58品目

一品目につき年間需要百万円以上と目されるもの

品 名	原 産 地	積 出 港	元 俵	1ヶ当 重 量 (約)斤	輸入承認 方式	輸入税	現 在 市場価格 (円)	用 途
ア セ ン ヤ ク	インドネシア, マレー	シンガポール	麻袋	100	A A	F	150	
アラビヤゴム	エジプト	ポートスーダン	麻袋	100K	A A	F	150K	工 業 用
ア ロ エ	南阿連邦, イン ド	ケープタウン, ボンベ	石油缶二ケ木 箱入	80	A A	F	250	
バ ッ カ ク	スペイン, ポル トガル	バルセロナ	ドラム缶	50K	Allo	10%		
白 檀	印度, 濠洲	ボンベ, パー ス	麻袋	100K	Allo	F	350	薫 香
ベ ニ バ ナ	印度	ボンベ, カル カッタ	麻袋	100	A A	F	80~150	
//	中国	香港	箱入	150			200	
チ ョ ウ ジ	ザンデバル	ザンデバル	アジロ袋	140匁	A A	F	250	香 辛
//	マダガスカル	マルセーユ	麻袋	80斤			240	薫 香
チ ョ ウ ジ 油	英国, フランス	ロンドン, マル セーユ	瓶, ドラム		A A	F	2,000~5,000	香 料
ダイオウ(唐)	中国四川		籠アンペラ又 は麻袋巻	150	A A	F	130	
// (辛)	中国北部	香港	麻袋	100			70	
五 倍 子	中国中部	香港	麻袋	80	A A	F	トン 15万円	工 業 用
ゴ オ ウ	濠洲						玉匁 2,000	
//	北米						// 1,900	
//	南米				A A	10%	// 1,600	
//	欧洲						// 1,900	
//	印度						// 1,400	
ハ ン ゲ	中国中部	香港	麻袋二個合セ	250	Allo	10%	130	
ジ ャ コ ウ	ヒ山 { 中国, 雲 南, 西康 四川 マラ { ネパール ヤ系 { 北部印度	香港			A A	10%	25~30万円	香 料
//		カルカッタ, ボ ンベ					23~25万円	
沈 香(泥)	仏印	香港						
(タニ)	マレー	シンガポール, 香港	木箱		A A	10%	1,000~ 10,000	薫 香
(シャム)	タイ	香港						

ジ オ ウ	中国北部		麻袋	200	Allo	10%	70		
マ ク リ	沖縄, 台湾		麻袋	80	A A	F	300~350		
甘 草	中国西北部 (福州)		アジロ, アンペラ巻	80又は160	A A	F	No. 2 80 " 3 60 " 4 40	甘 味	
	中国東北部 (錦州)		麻袋巻	150					
カ ラ シ	中国北部		麻袋	80		5%	トン 8万円	製 油	
カ イ カ	中国北部		アジロ入	250	A A	10%	80		
甘 松	中国 (四川奥地)		麻袋入%個合せ	250	Allo	F	150	薫 香	
キ キ ョ ウ	中国北部		麻袋又はアンペラ	150	Allo	10%	80		
ケイ皮 (広南)	北部仏印, 中国南部		アンペラ角俵	80			50	香 辛	
" (折)			" (下級品)	60			46	薫 香	
" (セイロン)	北部仏印, 中国南部				A A	F	120		
" (巻肉桂)	北部仏印						90		
ケイ皮油		香港			A A	F	キロ 1,800	香 料	
ゲンチャナ	フランス, スペイン	マルセーユ	薄手麻袋	150	A A	F	130		
ケツメイシ	中国中部	香港	麻袋	150	Allo	10%	50		
鶏冠石 (トンキン雄黄)	中国奥地	香港	木樽, 麻袋巻	200	Allo	F	140	煙 火	
	(鶏冠雄黄)								
血 竭	東南アジア	シンガポール	麻袋	150	Allo	F	250	印 刷	
コ シ ョ ウ	インドネシア等熱帯地	シンガポール	二重麻袋	120	A A	20%	白 300 黒 200	香 辛	
"	ブラジル								
コ ロ ン ボ	東アフリカ	モンバサ, ボンベ	麻袋	80	Allo	F	100		
コ ウ ブ シ	中国中, 北部		麻袋三ヶ合せ	300	Allo	10%	60		
胡 荽 子	モロッコ, 印度	マルセーユ, ボンベ	麻袋	80	A A	10%	80	香 辛	
マ オ ウ	パキスタン, 中国西北部		麻袋	170	A A	F	60		
木 香 (黄)	印度, カシミール	{ ボンベ, カルカタ	麻袋	80	A A	10%	黄 400 白 250		
" (白)	印度								
" (四川)	中国四川	香港					四川 150		
ニ ク ズ ク	インドネシア	マカッサル	麻袋	120	A A	F	皮ナシ 350 皮付 250	香 辛	
"		シンガポール							
オ ン ジ	中国東北部	香港	麻袋	70	A A	F	180		
オ ケ ラ	中国南部奥地	香港	籠, 麻袋巻	170	Allo	10%	60		
オ ウ ゴ ン	中国北部	香港	籠, 麻袋巻	150	Allo	10%	70		
鹿 茸	中国北部	香港			Allo	10%	全枝勿 250 上台" 500		
サ フ ラ ン	スペイン, ポルトガル	バルセロナ, マルセーユ	5 ガロン缶入		Allo	F	斤 23,000		
サ ン シ シ	中国中部	香港	籠, アンペラ巻	170	Allo	10%	120		
山 奈	中国南部	香港	麻袋又はアンペラ袋	150	Allo	10%	250	薫 香	
山 帰 来	中国南部	香港	籠, 麻袋巻	270	Allo	10%	70		

サイカク	東アフリカ	ザンジバル, 香港	木箱, 麻袋巻		AA	10%	先角刃	55	
ショウキョウ	中国奥地	香港	麻袋	100	AA	10%		130	香 辛
シュクシャ	タイ	香港(正味10斤入箱入)	紙包20ヶを木)	200	AA	10%		400~600	
小豆蔻	セイロン, 印度南部	コロombo, ボンベイ	木箱	100	AA	F	世	800	香 辛
センナ	印度南部	ツチコリン	プレス麻袋包	300	AA	10%	#2 #3	80 70	
センソ	中国北部	香港	木箱		AA	10%		9,000	
タクシャ	中国奥地, 中部	香港	籠, 麻袋巻	200	Allo	10%		70	
タイソウ	中国北部	香港	籠合せ麻袋巻	150	Allo	20%		120	
トウニン	中国北部	香港	麻袋	120	Allo	10%		250	
ウイキョウ	欧, 亜州	ボンベイ, 香港	麻袋	100	AA	F		60	
ウイキョウ油	仏印北部, 中国南部	香港	7.5K入缶入		AA	F	キロ	2,500	
ウワウルシ	スペイン, フランス		薄手麻袋	80	AA	10%		90	
ウコン	印度	ボンバー	麻袋	120	AA	F	印度	100	
〃	台湾	キールン					台湾	70	
熊膽	北部印度	ボンバー, カルカタ	木箱		AA	10%	斤	8万円	
〃	中国南部奥地	香港							
ヤクチ	中国南部, 海南島	香港	麻袋	100	Allo	10%		120	
ヨクイニン	中国	香港	籠合せ	120	Allo	10%		70	

B 40品目 一品目につき年間需要百万円以下五十万円までと目されるもの

品名	原産地	積出港	元俵	1個当り重量約(斤)	輸入承認方式	輸入税	現市場価格(斤)	薬用外用途
安息香	タイ, マレー	シンガポール, 香港	木箱合せ	150	Allo	F	180~400	薫 香
ホミカ	仏印, インド	香港, ボンベイ	麻袋	120	Allo	F	50	
ビンロウジ	東南アジア	カルカタ	麻袋	150	Allo	F	60	
白 茂	中国	シンガポール, 香港	麻袋	150	Allo	10%	250	陶 器
チヨレイ	中国	香港	麻袋	100	Allo	10%	90	
大 茴 香	中国南部, 仏印北部	香港	アンペラ袋	80	AA	F	100	薫 香
エンゴサク	中国中部	香港(小粒入りと大粒入りと籠)		300	Allo	10%	250	
ガジュツ	中国南部	香港	麻袋	120	Allo	10%	90	
ゴ シ ツ	中国中北部	香港	木箱入	80	Allo	10%	150	
ゴ ミ シ	中国中北部	香港	麻袋	250	Allo	10%	150	
蓰 蓉	中国北部	香港	麻袋	120	Allo	10%	200	
地 骨 皮	中国中部	香港	籠アンペラ又は麻袋巻	170	Allo	10%	130	
チ モ	中国北部	香港	麻袋	100	Allo	10%	120	
辰 砂	中国奥地	香港	1斤宛紙包み		Allo	10%	宋砂(天然品) 7,000~ 15,000 靈砂(混合物有) 3,000	

何首烏	中国奥地		籠, アンペラ巻	150	Allo	10%	150	
カゴソウ	中国北部		アジロ, 籠	120	Allo	10%	120	
キョウニン	中国北部		麻袋	120	Allo	10%	300	
金銀花	中国中部		アジロ籠	120	Allo	10%	300	
枸杞子	中国奥地	香港	麻袋	200	Allo	10%	500	
コンズランゴ	南米, ペルー	ニューヨーク	麻袋	150	Allo	F	300	主として 洋酒, 香料
コウボク	中国奥地		麻袋巻	100	Allo	10%	80	
乳香	熱帯地	シンガポール	アンペラ麻袋巻	120	Allo	10%	120	中等 薫香
オウギ	中国北部		麻袋包	100	Allo	10%	180	
連翹	中国北部		アジロ麻袋巻	130	Allo	10%	120	
サンザシ	中国中部	香港	麻袋	130	Allo	10%	90	
サイシン	中国北部	香港	麻袋	100	Allo	10%	270	
山薬	中国中部	香港	木箱入	100	Allo	10%	250	
山茱萸	中国中部	香港	麻袋	200	Allo	10%	350	
サイコ	中国北部		籠麻袋巻	120	Allo	10%	150	
サンソウニン	中国中部		麻袋二ヶ合せ	250	Allo	10%	800	
使君子	中国奥地		籠, 麻袋巻	150	Allo	10%	120	
セネガ	カナダ, 北米	バンクーバー, ニューヨーク	麻袋	80	AA	F	2,500	
前胡	中国奥地		麻袋	100	Allo	10%	150	
蘇木	印度東部	香港	麻袋	150	Allo	10%	150	
タマリンド	東南アジア		木箱	200	AA	10%	80	香 辛
天麻	中国奥地		麻袋	120	Allo	10%	150~500	
天門冬	中国中南部, 奥地		籠, 麻袋巻	200	Allo	10%	150	
トコン	中部アメリカ		木箱		AA	F	8,000	K
杜仲	中国奥地		麻袋巻	80	Allo	10%	150	
藤黄	仏印, タイ		木箱	200	Allo	10%	300	顔料

C 110品目 一品目につき年間需要五十万円以下と目されるもの（俗に遠薬と称す）

アギ, アルテア根, 阿膠, 貝母, 白芷, 白豆蔻, 百部根, 白蘇, 白薇, 附子, 紅豆蔻, ベラドンナ根, 芒虫, 釣藤鈎, 竹茹, 大戟, 代赭石, 土荊芥, 覆盆子, 芫片, グアヤク木, 芫花, 玄蓼, 五靈子, 蜈蚣, 五加皮, 巴豆, 柏子仁, 巴戟天, 白扁豆, ヒヨス, ヒドラスチス, 葶藶, 補骨脂, イリス, 一角, 郁季仁, 常山, 麝虫, カマラ, カスカラサグラダ, 海葱, 甘扁桃, 甘遂, 乾膝, 款冬花, 瓜蒂, 菊花, クベバ実, 薰陸, 荊芥, 琥珀, 胡黄連, コルヒクム子, 玫瑰花, ミルラ, メンマ, 木鼈子, 忍冬, 黄精, 雷丸, リンドウ, 竜眼, 竜骨, 李根皮, 蘆眼石, 零陵香(薫香), 良薑(薫香), サルサ, サレップ, 三陵, 山豆根, シナ花, 紫苑, 秦皮, 菖蒲, 車前草, 商陸, 沙参, 升麻, 秦艽, 赤石脂, 蒺藜子, 紫根, ストロファンツス, 水蛭, 石松子, 石菖, 石斛, 川骨, 施覆花, 青黛, 穿山甲, 青蒙石, 草豆蔻, 草菓, 丹参, 大楓子, 沢漆, 葶藶子, 杜松子, 冬仁, 烏梅, 烏藥, 五加皮, ヤラッパ, 射干, 陽起石, ザクロ皮, 全蠍.